

稲刈りで秋の田舎を体験

まるごと田舎体験事業推進協議会

農作業を通じて南関町を知ってもらおうと、「まるごと田舎体験事業推進協議会」(田中光秋会長)は10月14日、まるごと田舎体験事業の稲刈りを上長田で行い、11組37人の家族が参加しました。

稲刈りの後は芋堀り体験も行われ、昼食には生活研究グループ連絡協議会による手作りの郷土料理が振る舞われました。

参加者は6月に田植えを体験し、今回稲刈りで収穫。大きく立派に成長した稲を嬉しそうに刈り取る姿が見られました。



稲の刈り方を指導している様子

左から高巣町長、河村社長、
蔵原町長、佐藤町長



「金栗四三」氏を全国に

熊本日日新聞社との連携協定締結

町は10月10日、玉名市・和水町の1市2町で、郷土の偉人「金栗四三」氏の功績などを広く全国に周知し、地域の活性化を図るため、(株)熊本日日新聞社との連携協定の調印式を玉名市役所で行いました。

来年1月から放映の大河ドラマ「いだてん」や、2020年の東京オリンピック開催に向け、金栗氏の功績に併せ地域の魅力をより広くPRするために、熊日新聞社の情報発信力を活用し、相互の企画アイデアや組織力を共有することで、効果的に展開させることを目的としています。熊日の河村邦比児社長は、「地域おこしに向け方策を共に探りたい」と述べ、町長は蔵原隆治玉名市長・高巣泰廣和水町長と共に熊日の発信力に期待を示しました。

釘崎さん夫婦と村村会長



家族の男女共同参画

家族経営協定を締結

農作業の分担などを书面化する家族経営協定の調印式を、10月16日に町役場で行い、1経営体が協定書に調印しました。

協定書には農作業と家事の役割分担や休日の設定、仕事に応じた報酬などが明文化されています。これまでに、町内では延べ29経営体が協定を締結しています。

この日は、新規で釘崎惣一さん夫婦(細永)が、町農業委員会の村村会長と玉名地域振興局農業普及・振興課の南参事、宮本参事、玉名農業協同組合南関総合支所の森支所長の立ち会いの下で協定書に署名、押印し、協定を締結しました。



3



2



1

写真の説明

①ゲストの吉本の芸人(左から川島さん、梶原さん、遠藤さん)②元気にスタート③南関あげ巻き寿司「いただきます!」④大学ブースのkick theボウリング⑤自慢のだんご汁⑥私は誰でしょう?!



5



6



4

南関町スポーツコミッション(佐藤安彦会長)は10月28日、ホテルセキア周回コースでイートランを開催しました。笑いの要素や、また、参加者の個性豊かな衣装や化粧で、仮装コーナーでも盛り上がり、昨年同様2回目の開催。当日は、各地から546人が思い思いに体を動かし、ゲストの吉本芸人や東京女子体育大学などの協力大学生が参加しました。

イートブースではあげ巻き寿司やそうめんなど町の特産品が振る舞われ、参加者は次のブースを期待しながら走ったり、歩いたりしました。大学生のブースではピンポンパ



3



2



5



4



1

写真の説明

①ゲスト出演「デュオ・フルサワ」②「菊の会」による日本舞踊③「梅耕会」による詩吟④作品展示会の様子⑤御茶屋跡の菊花・バラ展

今回は舞台発表のゲスト出演として「DUO・フルサワ」が親子共演。母の古澤嗣佳子さんが奏でるクラリネットと娘の古澤歌歩さんが伴奏するピアノで、会場は幻想的な雰囲気になりました。

「南関あげ」大活躍!

「あげあげキンパ」で「うまいもん甲子園全国大会」出場

鹿本農業高校(山鹿市)3年の松永風音さんと植島葵さんが10月16日に、佐藤町長を訪問し、「うまいもん甲子園」全国大会の出場を報告しました。

2人は、8月17日行われた九州大会に「あげあげキンパ」で挑み、昨年の準優勝に続き優勝を獲得しました。「キンパ」とは、韓国風海苔巻のこと。県産の豚肉やニンジン、タケノコなどをピリ辛に炒め、山鹿産の赤米を海苔の代わりに南関あげで巻いた、熊本の味を包み込んだ作品です。

佐藤町長は「南関あげを広く活用していただいてありがたい」と感謝の言葉を述べました。

全国大会は11月2日に東京で行われ、2人は審査員特別賞を受賞しました。



「あげあげキンパ」を披露した植島さん(左)と松永さん(右)

スポーツの秋

食欲の秋

芸術の秋

第42回 南関町文化祭